## 令和6年度第2回 政策形成実践研修(短期集中研究会)

ふくしま自治研修センター政策支援部では、県内自治体等職員の政策形成能力の向上を目的として、令和6年度第2回目となる政策形成実践研修(短期集中研究会)を実施しました。

#### 1 政策形成実践研修(短期集中研究会)とは

- (1) 短期間で、政策形成の基本プロセスを学ぶことを目的に、5人程度のグループをつくり、地域課題をテーマに事業の構築を行うもので、講義、研究活動、フィールドワークを組み合わせた実践的な研修です。
- (2) 5日間の集合研修を3回に分け、約1ヶ月の間に行います。集合研修日以外に、自主的に行う学習もあります。
- (3) モデル自治体を選定し、モデル自治体が抱える課題の中から、研究テーマを選定します。

#### 【研修日程等】



#### 2 実施状況

(1) 参加者

15名(県職員10名、市町村職員5名)

#### (2) 日程等

研修日		場所
1日目	令和6年10月17日(木)	ふくしま自治研修センター(1泊2日)
2日目	令和6年10月18日(金)	ふくしま自信研修センター (1位2日)
3 日目	令和6年11月 1日(金) Cグループ	フィールドワーク(広野町役場ほか)
	令和6年11月 5日(火) Aグループ	フィールドワーク(会津坂下町役場ほか)
	令和6年11月 7日(木) Bグループ	フィールドワーク(棚倉町役場ほか)
4日目	令和6年11月18日(月)	ふくしま自治研修センター(1泊2日)
5日目	令和6年11月19日(火)	

#### (3)研修経過

#### 1日目・2日目

#### 研究テーマの決定・フィールドワークの計画

15人の研修生が5人ずつ3グループに分かれ、それぞれのグループで研究対象とするモデル自治体を決め、モデル自治体の現状と課題を調べ、課題を整理して研究テーマを決めました。 次に、事業の検討を行い、現場の情報収集を行うためのフィールドワークの計画を立てました。







#### 3日目

#### フィールドワーク

自分達が考えた事業の方向性が現状と合っているのか確認し、結果を事業の構築に反映させるため、各グループで、 実際に現地(モデル自治体)に行って現状を視察したり、関係者に直接話を伺いました。



広野町振興公社

#### 4日目·5日目

### 事業提言のまとめ・発表練習・発表会

聞き手の視点に立ったプレゼン資料の作り方や発表の仕方を学び、発表会に向けて練習を 行いました。







研修の最後に、センター所長をモデル自治体の首長に見立て、グループ毎に事業提言を行いました。





#### 3 提案事業

#### 【Aグループ】

モデル自治体:会津坂下町

名:「ばんげ」に冷やしラーメン食べさきっせ事業





# 「ばんげ」に冷やしラーメン食べさきっせ事業(予算1,300千円)

#### 現状と課題

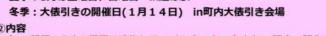
- ①観光の目的地が「道の駅あいづ 湯川・会津坂下(以下、道の駅)」になっている。
- ②道の駅の来場者数は年々増加する一方、坂下町内の観光客数は減少傾向

#### 事業目的

- ①道の駅に訪れた人々を会津坂下町内に呼び込み、観光人口を増やす。
- ②「会津坂下町」の冷やしラーメンの知名度向上(会津坂下町=冷やしラーメンのまち)

- ◎夏季及び冬季に冷やしラーメン食べ比べフェアを開催
- ①開催日・場所

夏季:8月の土曜日、日曜日 in道の駅







全12種類のうち3種類の冷やしラーメンを1セットとして販売。購入者には、町内の冷やしラーメン店で利用で きる食事券を配布。

#### 事業効果

①坂下町内の観光人口増加 ②冷やしラーメンの知名度向上

#### 【Bグループ】

モデル自治体:棚倉町

提 言 事 業:「未来へつなぐ」ふるさと"まるごと"体験事業



## 「未来へつなぐ」ふるさと"まるごと"体験事業

5.031千円

Bグループ

事業 ①中学生が将来の居住地としてふるさと(東白川郡の各町村)を選ぶきっかけづくりをする

②地域資源であるルネサンス棚倉の魅力を知る ③広域的なつながりを深める(周辺中学校、修明高校、役場)

対象者:棚倉中学校、塩中学校、鮫川中学校、矢祭中学校の2年生全員(計251名)及び保護者等 概要 会場:ルネサンス棚倉(1泊2日)

地域の良さを共有する (1日目·午前) 1 日 目





2 日 目 地域の良さを体感する (2日目)

実施主体:「未来へつなぐ」ふるさと実行委員会(東白川郡の町村で組織) 財源:県サポート事業(4/5)、各町村負担金(棚倉:約40万、他3町村:20万)

#### 事業効果

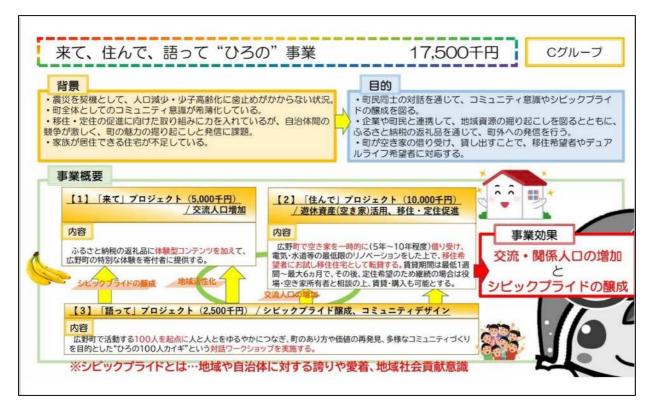
- ①中学生の定住意向増 → <u>人口流出に歯止め</u> ②地域資源を活用 → <u>地域の活性化</u>
- ③広域連携 → つながりを深める

#### 【Cグループ】

モデル自治体:広野町

提 言 事 業:来て、住んで、語って"ひろの"事業





#### 4 研修生の感想

研修生からは、次のような感想が聞かれました。

- (1) 政策形成の大変さや、やりがいを感じられ、業務に直接活かすことができる経験ができて良かった。
- (2) 通常の業務では政策形成とは縁がないので、今後、異動になった際の予行演習として、 貴重な経験だった。
- (3) 採用3年目で経験が少なくリーダーは大変だったが、良い経験となった。

また、研修に参加して成長したと思う点について、「政策形成力」「調整力」「プレゼン 力」「調査力・ヒアリング力」が上げられました。

その他、「グループで協力する大切さ」「違った視点で考える大切さ」「できない理由を探 さない意識」などの気づきが得られたという意見もありました。

